

当院透析室での新型コロナウイルス 感染症対策について

大場内科クリニック 看護部¹⁾ 検査部²⁾ 腎臓内科³⁾

○安島 裕美(アジマ ヒロミ)¹⁾

森 ともみ¹⁾ 清水 民子¹⁾ 金成 万里子¹⁾

高星 貴子²⁾ 藤咲 久美子²⁾ 田澤 隆行²⁾

黒澤 美穂³⁾ 後藤 達宏³⁾ 大場 正二³⁾

【はじめに】

今回の新型コロナウイルスの流行により、茨城県内でも2020年3月に感染者が発生、4月18日には茨城県緊急事態宣言が発令された。透析患者は免疫力の低下により易感染、重症化しやすい。また、透析室は密になりやすい環境である。集団感染を予防するため強化した当院透析室の感染対策について報告する。

【対策】

1. 患者への定期的な呼びかけ

- ①来院時、マスクの着用
- ②来院前の体温測定
- ③入室前手指消毒の徹底
- ④待合室等での談笑を控える
- ⑤指定場所以外での食事中止

体温37.5℃以上時には、
来院前に電話連絡する
よう説明

透析時にパンフレットを用いて患者1人1人に上記を説明。
定期的に待合室等を見回り、患者へ声かけ実施。

同居家族や職場同僚等の発熱、
濃厚接触者の確認

2. スタッフ対策

マスクの着用

- ・ 医師含め、全職員のマスク着用の徹底

出勤前の体温測定

- ・ 37.5℃以上時 ➡ 出勤せず、医師診察を受ける

行動記録

- ・ 休日の外出を控え自宅待機
(特に県外への外出は控える)
- ・ 日常生活の行動を記録 ➡ 感染発生時に提出

食事、休憩時間

- ・ 会話は極力避け、座席の間隔を調整
- ・ 会議室等利用し、休憩室で密にならないよう調整

3.院内対策

入館時の対応

- ・ 来院者の非接触型体温計測定 → 発熱者の選別
- ・ マスクの着用・手指消毒の声掛け
- ・ 車椅子利用後の消毒



院内の消毒・清掃・換気

消毒・清掃：1時間毎に実施
換気：透析クール毎に実施

入室時間調整

通常8：00より体重測定後、
一度待合室で待機し、順番で入室



7：40より順次入室、体重測定し
各ベッドで待機

※9：00までに来院し外来患者との
接触を避ける

待合室の座席間隔の調整

1mの間隔を空け、対面にならない
ように椅子を配置



4. 食堂の改修

4/20
患者食堂閉鎖、
食事提供の中止

食堂改修

5/10
食堂、食事提供
再開



改修前：6人掛けテーブル×4

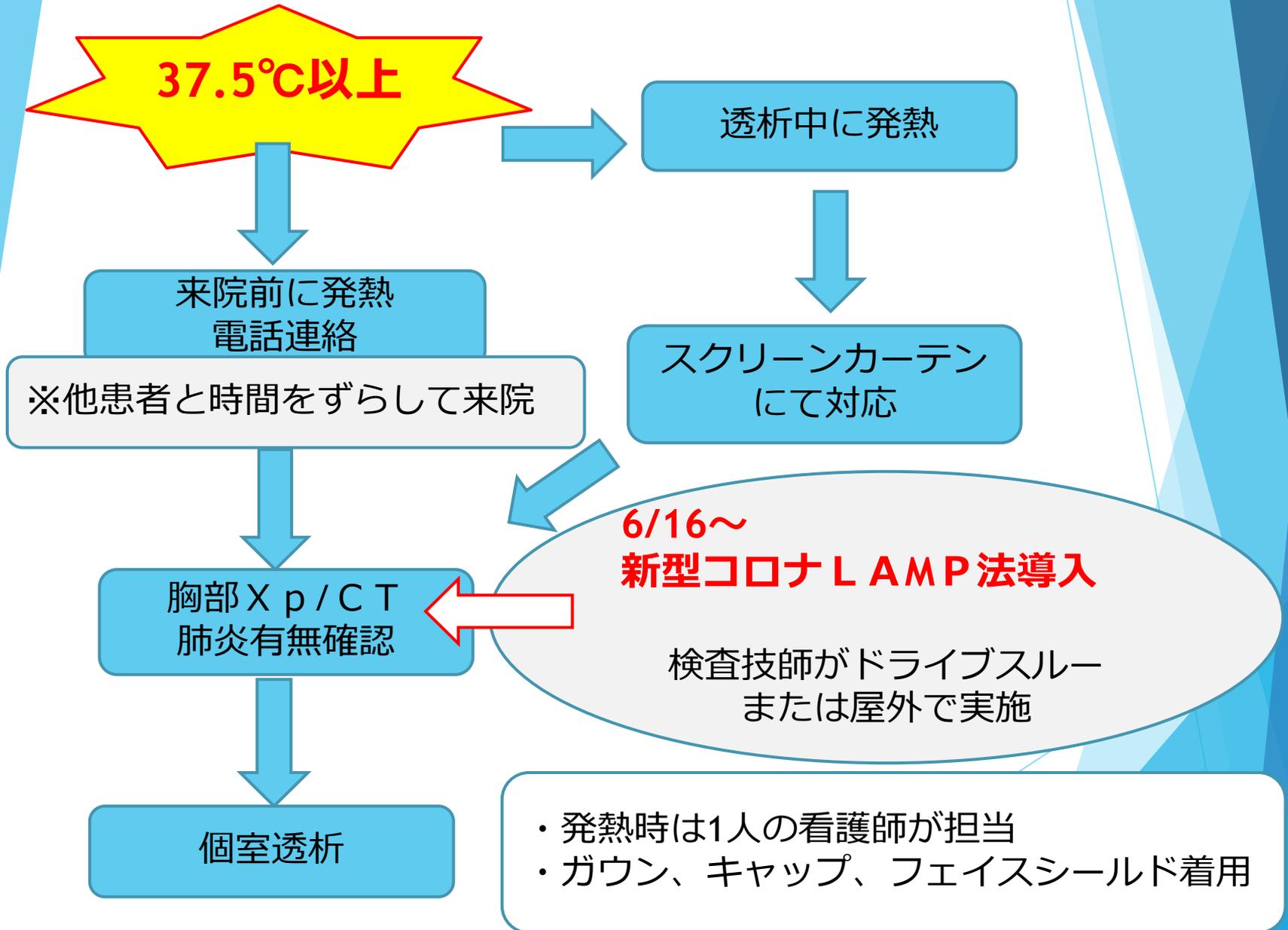


改修後：4人掛けテーブル×4
1人掛けテーブル×1
カウンター席×6

全体の間隔を空け、テーブルに
アクリル板を設置

持ち込み食の患者用に外来待合
室の一部をスクリーン使用にて
開放

5.発熱時対応



2020年3月～9月末までの発熱・個室対応

発熱・個室対応総数：37名

新型コロナLAMP法導入前：21名

発熱あり：17名

内訳

インフルエンザ：6名

その他：11名

(他院でPCR検査陰性：2名)

発熱無し：4名

内訳

家族・同僚発熱：2名

他県より臨時透析：2名

(臨時透析患者は全て個室対応)

透析室個室 1床

病棟個室 1床

隔離室 2床 (8/29~)

新型コロナLAMP法導入後：19名

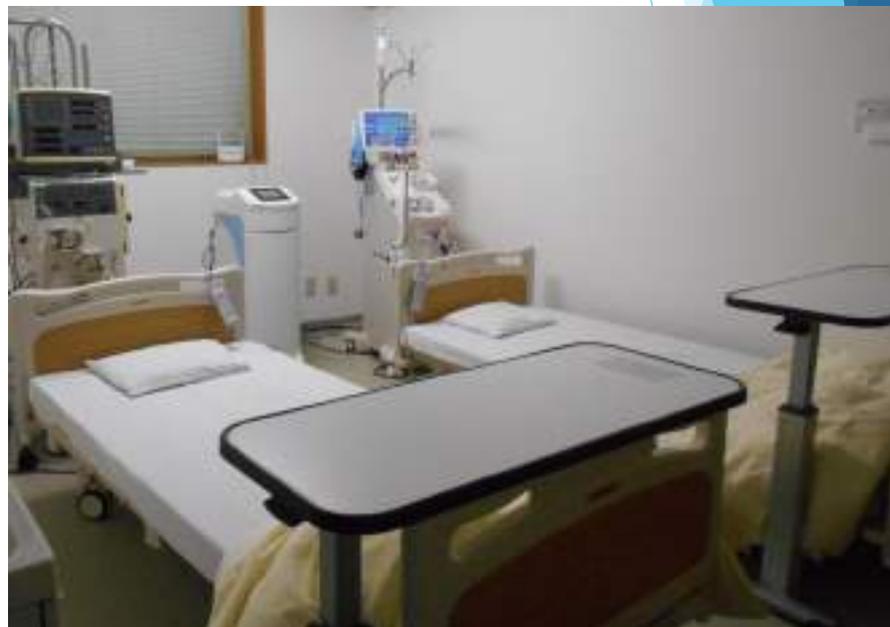
内訳

発熱患者：透析14名・外来3名

入院患者：2名

(当院入院時に全員実施)

➡陽性：0名 陰性：19名



新型コロナLAMP法

新型コロナウイルス遺伝子検査LAMP法とは、PCR法と同じく検体からRNAを検出する方法。PCR法と比べ増幅効率が高く短時間で検査できる方法である。

採取容器

1次容器：鼻腔用滅菌綿棒 2次容器：BARRIAPOUCH 3次容器：BARRIABOX



検体採取時の感染対策

手袋・マスク・防護服・フェイスシールド着用

検査結果

おおむね15時までに検体を提出すれば、当日18時頃までにFAXで結果が判明する。それまで患者は自宅待機とした。



【結果・考察】

- ・患者へ定期的な感染予防の呼びかけに加え、院内を見回り、患者に個別に呼びかけを行い患者の感染予防意識の向上を図った。
- ・待合室、食堂での距離を保てるよう工夫し患者間の会話を最小限にしたことや定期的な消毒、換気を行った。
- ・体温測定の徹底、発熱時の事前連絡により早期に検査が実施できた。
- ・早期CT/新型コロナLAMP法により、肺炎や感染がないと確認したことが患者、家族の不安の軽減に繋がった。
- ・現時点、当院で感染発生はない。今後も感染状況の変化に応じて対策を講じていく必要がある。

茨城人工透析談話会

COI 開示

筆頭発表者：安島 裕美

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。